



思いやりとありがとうの心で



草津市立草津第二小学校 道徳・人権通信 令和4年7月20日 NO.3

☆7月のフレンズデー 「ねえ、どっちがいい？」

めあて…それぞれの考えを話し、「おーへーそーなー」で相手の意見を大切にしながら聞き合う。

誰にも考え方に同じところや違いがあることに気づき、それらを認め合いながら楽しく活動できる。

(聞くルール「**おー、へー、そうなんだ、なるほど～**」)

2つのものの中から、自分の好きなものを選び、隣の人や周りの人と好きな理由を話したり相手に質問したりして互いの考えを聞き合いました。

《活動をして》

- ・わたしは、アイスクリームが冷たいからいいなと選んだけど、かき氷の方がおいしいという人もいてびっくりしました。楽しかったです。
- ・友だちの考えを聞いて、自分が選んでいない方もいいなと思って好きになったり、でもわたしはやっぱりこっちがいいなと思ったりしました。
- ・選んだものが違ったり、同じものを選んでも理由が違ったりして、それぞれの意見があっっておもしろい。またやってみたい。みんなのことが知りたいです。
- ・なるほど、これもいいな。おー、これも楽しそうと思ったよ。
- ・人はいろいろな理由があっって同じものや、違うものを選んでるんだな。
- ・正解はないし、当たり前はないと思いました。
- ・友だちに自分の思ったことを言えて楽しかった。一人ひとりが思ったことを言えてることもすごいと思いました。
- ・考えを話し合っって、言葉は人との一つの出会いだなと思いました。
- ・思ったことが同じで安心。ちがっても楽しい。どっちもいい。
- ・自分の考えが広がったと思いました。みんなちがってみんないいんだな。
- ・人と違うからダメなのではなく、人と違うところがある（のが当たり前）と、自分が知らないことが分かった。それが個性だと思いました。



※活動を通して、子どもたちはいろいろなことに気がつきました。また、友だちの考えとの同じや違いに気づけた話し合い活動を楽しむ姿が見られました。

「ねえ、どっちがいい？」を別紙配布します。よろしければぜひご家庭でやってみてください。

☆人権の花サルビア

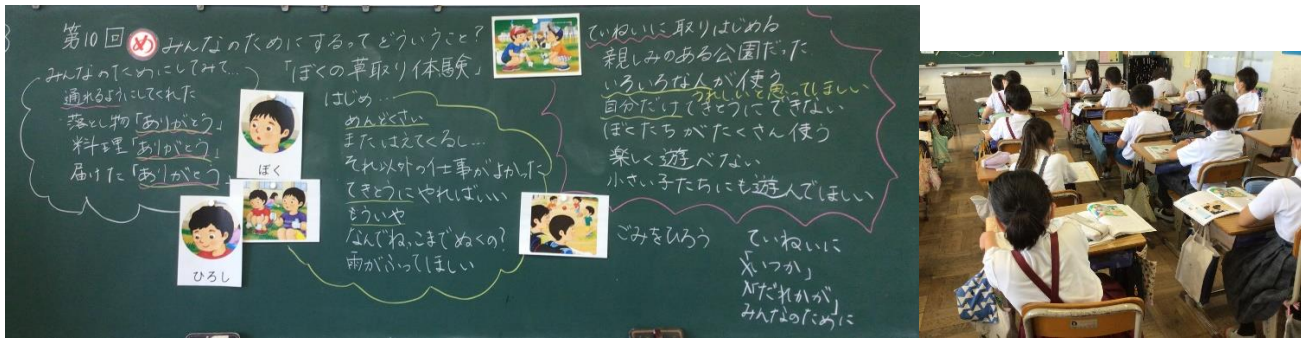
人権委員会・環境委員会の子どもたちが5月に種をまいて、毎日水やりなどを続けて来たサルビアの苗を草津駅に配りに行きました。コンコースを通りかかる方に声をかけたり、もらっていただいたりすることは子どもたちにとって勇気のいることでした。そのがんばりが苗に添えたメッセージカードにある第二小学校が大切にしている「思いやりとありがとうの心」を広げる一歩になったと思います。



当日は、草津市の人権擁護委員のみなさんにご協力いただきました。いろいろなところで思いやりの花が咲きますように。

道徳の学習から

4年生「ぼくの草取り体験」



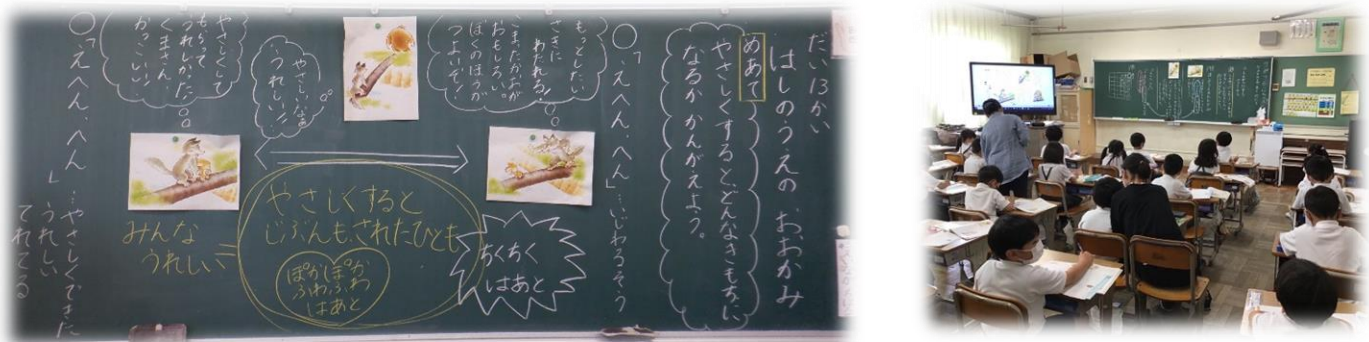
学校や公園の草取りをすることになった「ぼく」。めんどくに思いながらやっていたとき、ひろしくんがていねいに草をぬいていることに気づきます。

ひろしくんの「自分もよく遊ぶ公園だから」という言葉や、草取りをした後の公園で子どもたちが楽しそうに遊ぶ姿から、大変でめんどくなことだけれど、「みんなのためにする」ということについて考えを深めました。普段の生活の中でも、「みんなのために」「よろこんでもらいたいから」していることがあることに気づき、これからできることは何か考えました。

〈子どもたちの考え〉

- ・みんなのためになることに進んで取り組んでいきたい。
- ・いつかだれかがやってくれると思わずに、みんなのために行動したい。
- ・みんながよろこんでくれるとうれしいので、そうじなどにがんばって取り組んでいきたい。

1年 「はしのうえのおおかみ」



オオカミは、橋の上でウサギに通せんぼをしました。この意地悪が面白くて、キツネやタヌキにも同じように通せんぼをして楽しみました。そこへ大きなクマがやってきました。オオカミはあわててクマに橋を譲りましたが、クマが橋を譲ってくれました。その出来事の後、またウサギに出会ったオオカミは橋を譲りました。

オオカミがどうしてウサギに橋を譲るようになったのかを考えました。子どもたちからは、「くまにやさしくしてもらってうれしかったから」や「やさしいくまがかっこよかったから」という意見が出ました。その後、「親切はどうして大切なのか」について考えました。

〈子どもたちの考え〉

- ・やさしくされると、うれしいきもちになる。
- ・いじわるをしたときより、やさしくしたときのほうがずっときもちがよい。
- ・やさしくすると、もっといいきもちになる。